

# MR(麻しん・風しん混合)ワクチンの予防接種を受けられる方へ

## ＜ワクチンの効果と副反応＞

日本は国内から麻しん、風しんを排除することを目標にしています。接種歴を確認し、MRワクチンの2回接種を受けていない方や、ワクチン接種前に麻しん・風しんにかかったことがあると診断されている方も、できるだけMRワクチンを接種しましょう。麻しんや風しんにかかったことがある人がMRワクチンを接種しても問題ありません。

副反応としては、接種後4週間は副反応が起こる可能性があります。副反応の主なものは、発熱と発疹です。他の副反応として注射部位の発赤、腫脹(はれ)、硬結(しこり)などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなどがみられることがあります。またまれにショック、アナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳炎・脳症、けいれんなどの副反応が生じる可能性があります。接種後の異常な反応や体調の変化があった場合はすみやかに医師の診察を受けましょう。MRワクチンは2種類のワクチンを混合していますが、単独の麻しんワクチン、風しんワクチンに比べて熱などの副反応が強いことはありません。なお、健康被害(入院が必要な程度の疾病や障害など)が生じた場合については、健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うことになります。

## ＜予防接種を受けるときの注意＞

- ①MRワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。
- ②受ける前日は入浴(またはシャワー)をして、体を清潔にしましょう。
- ③当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ④清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤予診票は医師への大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
- ⑥予防接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持っていきましょう。
- ⑦予防接種を受ける方が女性の場合、あらかじめ約1カ月間は避妊しておきましょう。

## ＜予防接種を受けることができない人＞

- ①明らかに発熱のある人(37.5℃以上)
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③過去にMRワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人  
(他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前に医師へその旨を伝え、判断を仰いでください)
- ④妊娠していることが明らかな人。または、可能性のある人。
- ⑤その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

## ＜予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない人＞

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの基礎疾患がある人
- ②発育が遅く、医師や保健師の指導を受けている人
- ③カゼなどのひきはじめと思われる人
- ④予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全の人がいる人

## ＜予防接種を受けたあとの注意＞

- ①接種後30分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあればお医者さんとすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ②接種後4週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- ④接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ⑥接種後2カ月間は妊娠しないように注意してください。接種後2カ月以内に妊娠した可能性のある方は、医師へご相談ください。

あなたの接種予定日	医療機関名
月 日( )です 当日は受付に 時 分頃 おこし下さい	しいの木こどもクリニック 院長 西村 光敏 